

文化振興計画 事業評価シート

事業名		創作ミュージカル「二月堂良弁杉」 第100回記念公演		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -①、④ (5) -①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	2回	
日時	平成27年6月21日(日) / 11月22日(日)			会場	東大寺金鐘ホール／奈良市ならまちセンター	
目的	奈良に伝わる数多くの民話を、より広くの人々に知ってもらうために、ミュージカルという幅広い世代に楽しんでもらえる手法により普及活動を行う。また、100回目という節目の公演であることから、通常の公演(音声館)より規模の大きなホールで公演を行うことで、より多くの方に鑑賞していただく機会を提供する。					
内容	奈良に古くから伝わる民話をもとに音声館が平成7年に創作ミュージカルとして制作・上演。東大寺の開祖”良弁僧正”の生い立ちを描いた作品。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	500,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,000,000	支出	1,500,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	500,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	913,545	支出	1,413,545
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				6月公演…154件(56%)、11月公演…150件(55%)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	6月・11月後援とも、チケットが完売。当日の参加率もほぼ100%。		
	参加者満足度		9	来場者アンケートの結果によると満足度は約90%。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	6月・11月それぞれの公演で市民合唱団の出演を依頼し、公演を盛り立ててもらった。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	外部の音楽講師を招き、音楽面の質の向上を図った。また、演出に関して東大寺から助言をもらうなど、100回公演という節目にふさわしい内容になるよう工夫をした。		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	どの世代も万遍なく来場してくれることを望んでいるが、実際は60代以上が過半数以上と多い。		
総合評価(自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			出演者、協働者からは活動開始から20年、そして100回目の記念公演という節目の年に参加出来て嬉しい、という声が多かった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	100回記念という単発の事業であったので、注目度も高く多くの反響をいただいた。20年間の活動の成果を披露するとともに、地道に続けている活動を多くの方に知ってもらう機会として貴重な公演であった。			奈良の民話普及事業として、公演を続けていく予定であるが、節目の公演を終えた後は、注目度も下がり、演じる方のモチベーションも保たれにくいので、どのように工夫をして活動が続けていくかが課題である。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		音楽を楽しもう！ (子ども邦楽教室～三味線・尺八・箏～)		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー⑥	(2)ー②
	基本施策	2ー05	文化振興		(4)ー①	
	施策	2ー05ー01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	三味線(平成21年) 尺八(平成23年) 箏(平成25年)	実施回数	年13回程度	
日時	毎月、土曜または日曜、月1～2回		会場	音声館プレイルーム2または和室		
目的	近年、学校音楽教育で必修となった邦楽を手軽に学べる場を提供し、日本の文化を学ぶことを目的とする。					
内容	邦楽の師匠を講師に招き、邦楽の基礎を学び、また、年1回成果発表の場を設け目標を持って稽古に取り組んでいる。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,639,000	支出	1,639,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,670,400	支出	1,386,574
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	毎年受講希望が絶えず、十分な参加者数を得ていると考える。		
	参加者満足度		10	継続希望者が多数いることから、満足度が充分であると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	講師と共に事業展開を行い、受講生も増えていることから成果有りと考ええる。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	邦楽の師匠による指導であることから、質の確保はできているものと考ええる。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	受講者は小中学生としており、ほぼ全学年が参加している。		
総合評価(自動計算)			10			
参加者や協働相手からの意見			参加者の子どもたちからは、「楽しい」と言う声が多く聞かれる。また講師陣からは、年間を通して少ない練習量ながら子どもたちの演奏技術の向上はめざましく、毎回驚かされるとのご意見有り。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	設置目的の一つである「音楽及び演芸の振興を図り、市民の文化の向上に資する」に値する事業であり、受講者にとって身近に邦楽を学べる場となり、文化に対する意識向上につながった。子どもたちにとっては馴染みの薄い分野だと思っていたが、学校での取り組みも相まってこの数年、大変人気の高い事業となっている。			新しい企画も取り入れながら、他施設との連携をもって事業を展開して行きたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		音楽を楽しもう！ (歌ってみよう～童謡～)		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)－①、②	
	基本施策	2－05	文化振興			
	施策	2－05－01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成24年	実施回数	1回
日時	平成28年2月7日(日) 午後2時～4時			会場	音声館2Fホール	
目的	さまざまなジャンルの音楽を通して年齢や年代を問わず楽しむことを目的とする。					
内容	きらきら星の作詩者である武鹿悦子氏のお話及び、武鹿氏作品の童謡コンサート					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,639,000	支出	1,639,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,670,400	支出	1,386,574
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有(83%)		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		7	予定数より若干少なかったため、達成度は低いと考える。		
	参加者満足度		10	リピーターが多く、希望通りの作品展を開催できていると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	一般募集による市民の出演者もあったため、成果ありと考える。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	著名な方を招いてのコンサートであったため、質の高い内容であったと思われる。		
	ターゲットは適切に絞れたか		9	広報をすることで、他府県からの来館者があり、成果ありと考える。		
総合評価(自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			心のふるさとを語り、聞かせ、口ずさませて下さるとても貴重な時間を過ごさせていただきました。このような機会を是非増やしていただきたいとひしひしと感じました。いつの間にか手と手、心と心がつながり舞台と客席が一つになり優しく暖かい時間が流れていました。大変貴重なお話を聞くことができとても満足です。(アンケートより抜粋)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	誰もが一度は聴いたこと、口ずさんだことのある“童謡”の奥深さを知ることのできる貴重な催しであった。作詞家自らが作品について語ることは、大変有意義なもので音楽や幼児教育に携わるもっと多くの方々に参加してもらいたかったが、思うように周知できずもったいなかった。			次年度同じ催しは行わないが、今後内容や広報の仕方を練り直し、作詞家武鹿悦子氏の貴重な話をより多くの市民に聞いてもらえるような企画ができたら、と考えている。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		わらべうた普及事業 (出張わらべうた教室)		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)－③	(7)－③
	基本施策	2－05	文化振興		(4)－①、②	
	施策	2－05－01	文化の振興		(5)－①、③	(8)－②
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成25年度より 有料化	実施回数	31施設・56件	
日時	5月～2月までの依頼日			会場	各施設または音声館ブレイルーム2・ホール	
目的	市内外の学校・園等を中心に出張わらべうた教室を行い、わらべうた遊びの指導を行う。幼児・初等教育におけるわらべうた遊びの実践方法を現場で公開することで、教員等がわらべうたの効果を実感し現場に取り入れやすくなるよう推進する。 ならまち・音声館の活動を広報するとともに、遠足等での来館を推進する。					
内容	学校・園等からの依頼を受け職員及びわらべうた講師が出向き、出張わらべうた教室を開催してわらべうた遊びの指導等を行う。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	4,463,000	支出	4,463,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	4,019,600	支出	4,040,967
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	毎年継続での依頼が多く、また新規の依頼も年々市内外に広がっていることから達成度は高いと考える。		
	参加者満足度		10	継続の依頼が多いことから、満足度も高いと考える。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	指導者だけでなく親子が一緒に体感することでわらべうた遊びの重要性に気づき、さらなる依頼に繋がるなど広がっている。また、最近は民生委員や自治会からの依頼もあり、子供から大人まで幅広い世代の交流にも繋がっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	熟練のわらべうた講師より若手の講師への指導がなされ、質の確保はできているものと考え。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	市内を中心にたくさんの施設・学校より依頼がある。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			子どものみ、大人のみ、指導者、親子等さまざまな対象、また普段の保育や発表会、研究会等さまざまな場面で活用できるわらべうた遊びは、大変重宝されている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	わらべうた遊びの実践方法を現場で公開し体感していただくことで、指導者や親子にとって身近にわらべうたを学び、交流を深める場となり、わらべうたに対する意識向上につながった。年々依頼の件数も増加、市内だけでなく市外・県外からも要望がありニーズは高い。また、民生委員や自治体からの依頼も増え、子供だけでなく大人まで幅広い年齢層からの関心が高い。			幅広い年齢層への事業を展開して行きたい。また、これまで継続して指導を続けている園では、どのくらいわらべうた遊びが定着しているか、また活用されているかなどアンケートを取りながら、さらなる展開につなげていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		音楽を楽しもう！（楽しく！コーラス）		担当課 施設名	（ 音声館 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)ー①、② (6)ー①	
	基本施策	2ー05	文化振興			
	施策	2ー05ー01	文化の振興			
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成20年	実施回数	年26回	
日時	月2回（土曜日または日曜日）			会場	音声館ホール、その他	
目的	親子を含め、子どもと大人が一つのコーラスグループとなって、ともに音楽を創り上げる機会として活動する。また、男女や大人、子どもを分けて取り組む機会を作り、各々の歌唱力向上への働きかけも行う。					
内容	童謡やわらべうた、ポップスなど様々な分野の合唱に取り組み、子どもも大人も楽しくコーラスに親しむ機会とする。また、子どもと大人が共に活動する中で共通の目標を持ち、完成させる喜びを伝える。活動の成果発表の場として、なら100年会館チャリティコンサートに出演。					
事業費（円）						
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）		その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	1,639,000	支出	1,639,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）		その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	1,670,400	支出	1,386,574
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	口コミやステージ発表を見た方など、受講希望者が増え、活動が少しずつ広まってきている。		
	参加者満足度		10	通常練習の出席率も良く、受講生の参加意欲が高い。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	参加者は皆やる気があり、どんどん活動内容も充実していている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	通常の練習以外にも、希望者には個別レッスンを行い、質の向上を目指している。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	主に親子を対象としているが、ほとんどの受講生が家族（父・母・子ども）で受講している。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			5歳から50代までの様々な世代が共に活動することで、音楽を通して世代を超えた活動ができ、とても楽しい、と受講生からの意見が聞かれる。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	年々、受講生が増え、活動が活発になってきている。新しい曲にも積極的に取り組み、受講生を飽きさせない工夫をしている。			より質の向上をめざし、目標となる発表の場を新たに設けるとともに、練習に力を入れる。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		エントランスギャラリー		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー① (5)ー①	
	基本施策	2ー05	文化振興			
	施策	2ー05ー01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成8年	実施回数	通年(1期間:10日~14日)	
日時	通年			会場	音声館エントランス	
目的	館内空間を無駄なく利用し、同会場にて開催のコンサートと同時開催することで、耳だけでなく目でも楽しんでもらうことを目的としている。また、ギャラリー目的の来館者に足を運んでいただくことで、同館での活動を知ってもらう機会とする。					
内容	一般公募において応募のあったグループまたは個人の作品展示。年間約20組の作品展を開催。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	118,000	支出	118,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	57,650	支出	52,088
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	年間利用率はほぼ100%であるため、十分な参加率であったと考える。		
	参加者満足度		10	リピーターが多く、希望通りの作品展を開催できていると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	市民対象の事業であるため、成果ありと考える。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		5	一般公募のため特になし。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	様々なジャンルの作品を出展することで、より多くの来館者に足を運んでいただけたと考える		
総合評価(自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			同会場でのコンサートと同時開催することで、より多くの来館者に鑑賞していただけて良い。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	年間を通して、利用率はほぼ100%である。このため、今後もニーズがあると考えられる。平常時、施設見学していただく箇所が少ないことから、ギャラリー展示をすることにより、より多くの市民や観光客に来館する機会を増やし、入館者の増加とともに、音声館のPRにつながっている。			リピーターが多いため、次年度以降は初応募の参加者を増やしていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		エントランスギャラリー（制作）		担当課 施設名	（ 音声館 ）	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)－①	
	基本施策	2－05	文化振興		(2)－②	
	施策	2－05－01	文化の振興		(6)－①	
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成8年	実施回数	4回	
日時	①7月20日（月・祝）②8月2日（日）2回③11月28日（土）			会場	音声館2F会議室	
目的	ギャラリー出展者を講師に迎え、見るだけでなく、制作することで芸術の奥深さを感じてもらうことを目的とする。					
内容	子ども対象：制作教室（ねんどクラフト・科学工作）／大人対象：水彩画教室					
事業費（円）						
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	118,000	支出	118,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	57,650	支出	52,088
事業成果						
アンケート等実施の有無 （アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入）				無		
指標			評価 （10点満点）	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	いずれも募集人数に達しているため、十分な参加率であったと考える。		
	参加者満足度		9	創る喜びや感性を養うことができ、満足度は高いと思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	市民対象の事業であるため、成果ありと考える。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	日頃より講師として指導している方に依頼しているため、質の確保はできたと考える。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	対象別に開催しているため、其々のターゲットは絞れていると考える。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			講師には、初心者でも体験できる内容になるよう工夫をいただいているが、それが好評である。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	毎年楽しみにしている市民の方がおり、好評である。未来を担う子供たちの感性を育む機会として、昨年度より回数を増やし、より多くの子どもたちに参加してもらうことだできた。また、普段足を運ばない方に来館してもらうことで、入館者の増加とともに、音声館のPRにつながっている。			リピーターが多いため、次年度以降は初応募の参加者を増やしていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		わらべうた普及事業 (わらべうた教室)		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー①、④	
	基本施策	2ー05	文化振興		(2)ー②、④	
	施策	2ー05ー01	文化の振興		(4)ー①	
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	子どもクラス：6クラス×年27～29回 いきいきクラス（大人）：3クラス×年10回	
日時	子どもクラス：毎月火～金曜日 9：30～11：30 / 15：00～17：00 いきいきクラス：毎月第4金曜日 ①10：00～11：15 ②12：30～13：45 ③14：30～15：45			会場	音声館ホールまたはプレイルーム2	
目的	奈良に伝わる“わらべうた”を継承し、ならまちの文化振興に役立てるとともに、わらべうたを通して奈良の歴史や文化への関心を育み、ふるさと奈良への愛情と誇りを育む。 わらべうた本来の姿を大切にしながら現在にふさわしいアプローチ方法を用いてわらべうたへの興味・関心を引き出し、同時にわらべうたを通して子どもたちの人間関係づくりを援助し、幅広い層での世代間交流を経験できる場を提供する。					
内容	1・2歳児クラス（親子）2クラス／水・木：各25組程度 3歳児クラス（親子／子どものみ）2クラス／木・金：各20人程度 4・5歳児クラス（子どものみ）／木：20人程度 小学生クラス（1～6年生）／水：40名程度 いきいきクラス（50歳以上）3クラス／金：各70名程度					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	4,463,000	支出	4,463,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	4,019,600	支出	4,040,967
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	毎年受講希望が多く、抽選になるなど十分な参加者数を得ていると考える。		
	参加者満足度		10	継続希望者が多数いることから、満足度が充分であると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	わらべうた遊びを通して、奈良の行事や歴史について知ることができて良かった、との声を多数いただいている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	熟練のわらべうた講師より若手の講師への指導がなされ、質の確保はできているものと考え。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	市内を中心にたくさんの生徒が参加している。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			子どもクラスの保護者からは、「奈良に住みながら知らないことがたくさんあったが、わらべうた教室で奈良の伝統行事や歴史にまつわる様々な事柄を教えてもらい嬉しい。」などの声を多数いただいている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	目的の一つである「わらべうたを通して親子や友人などの基本的人間関係を楽しめる機会を提供する」に値する事業であり、受講者にとって身近にわらべうたを学び、交流を深める場となり、文化に対する意識向上につながった。			新しい企画も取り入れながら、事業を展開して行きたい。また、講師の育成にも努めたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		音楽を楽しもう！ (やわらぎコンサート)		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)－①	
	基本施策	2－05	文化振興		(2)－①	
	施策	2－05－01	文化の振興		(5)－①	
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成24年	実施回数	年25回	
日時	土日祝の指定日 14:00～14:45			会場	音声館エントランス	
目的	無料のコンサートを通して市民や近隣住民の方々、また観光に来られた方々に気軽に来館いただき、同館での活動を知っていただく機会とするとともに、アマチュア演奏家を中心に演奏発表の場を提供する。					
内容	年度末に出演者を募集。音響・司会等運営を音声館スタッフが行い、アマチュア演奏者等に発表の場を提供する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	無	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,639,000	支出	1,639,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	無	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,670,400	支出	1,386,574
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（出演者のみ） 25団体中16団体		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	来客数が最多数90名～最少数20名までとばらつきはあるものの、年間平均が60名と年間を通して高い来客率であったと考える。		
	参加者満足度		9	色々な楽器演奏から歌、そしてダンスまで幅広いジャンルの出演者を選び企画することで、聴きに来てくださるリピーターが多く、満足度は高いと思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	出演者が市内の方が多く、演奏するにあたり身内に広報して下さることで初めて音声館に訪れた方も多く、音声館の活動等のアピールにつながっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	例年、出演者の募集数に対し倍近い多くのアマチュアやプロ演奏者が応募くださるようになってきた。演奏者のレベルも向上し、色々なジャンルの音楽を提供でき、音楽の分野の幅を広げることができる。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	様々な世代・ジャンルの音楽をしていただくことで、より多くの来館者に足を運んでいただけたと考える		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			音響が良くお客様との距離が近いことで舞台・客席が一体となれた。多くの市民の方々や観光客に来館していただけて良かった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	年間を通して、60名近い方々が毎回コンサートに来て下さり、来館数は安定している。また、出演募集数に対し倍近い応募があり、幅広い演奏を企画することができ、音楽の分野の幅を広げることができていることから今後もニーズがあると考えられる。 平常時、施設見学していただく箇所が少ないことから、無料コンサートを企画することにより、より多くの市民や観光客が来館する機会を増やし、入館者の増加とともに、音声館のPRにつながっている。			リピーターが多いため、来客数はある程度安定しているが、次年度以降も来館者が飽きないように内容を充実し、もっとたくさんの方々に音声館に来ていただき、音声館の活動をアピールできるよう企画運営していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		日本の伝統文化を学ぼう (音声館子どもお茶教室)		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)－①	(6)－①
	基本施策	2－05	文化振興		(2)－①	
	施策	2－05－01	文化の振興		(4)－①	
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成15年	実施回数	年12回	
日時	毎月、第2日曜 正午～3時			会場	音声館和室	
目的	日本に伝わる伝統的な文化である「茶道」を次世代への継承するため、また、子どもたちが経験を通して日本の文化を知り、ふるさとを愛する心を育むことを目的とする。					
内容	茶道の講師を招き、小学生を対象に茶道の基本的な作法や点前を月1回稽古する。年4回、館内において「お茶会」を開催。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	260,000	支出	260,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	265,200	支出	229,858
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	毎年受講希望が絶えず、十分な参加者数を得ていると考える。		
	参加者満足度		10	継続希望者が多数いることから、満足度が充分であると思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	受講生やお茶会参加者から大変好評をいただいているので、成果有り。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	茶道の講師数名で指導にあたるため、教室内容の質は確保していると考ええる。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	受講者は小中学生としており、ほぼ全学年が参加している。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			敷居の高いイメージの”茶道”を楽しく学べる、と参加者からの声が多い。また、保護者で茶道経験のある方は、子どもたちが楽しく教室に通い、また身近に感じていることが嬉しいという声をいただいている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	受講者にとって身近に伝統文化を学べる場となり、文化に対する意識向上につながった。また、毎月行うエントランスコンサートに合わせお茶会を開き、一般市民と接することで、さらなる向上心をもって活動に取り組むことができ、また市民にはこの活動を知ってもらう機会となった。			茶道を学びながら、より広く日本の伝統文化や奈良の歴史や文化を学べる場として取り組んでいきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		音楽を楽しもう！ (エントランスコンサート)		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)－①	
	基本施策	2－05	文化振興			
	施策	2－05－01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成7年	実施回数	年12回(月1回)	
日時	毎月第二日曜日 14:00～14:45			会場	音声館エントランス	
目的	聴きに来てくださった方々が一緒に参加できる音楽を毎月定期的に行い、また、同会場にて開催のギャラリーや子どもお茶教室生による茶会(年間4回)を同時に企画することで、五感で楽しむコンサートを開催し、市民や近隣住民の方々、また観光に来られた方々に気軽に来館いただき、同館での活動を知っていただく機会とする。					
内容	企画・演出・出演等を音声館スタッフが中心に行い、職員の素養や専門性を活用する。 アマチュア演奏者等をゲストに迎え、発表の場を提供するとともに、提供する音楽の分野の幅を広げる。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	無	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,639,000	支出	1,639,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	無	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,670,400	支出	1,386,574
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	年間を通して十分な参加率であったと考える。		
	参加者満足度		10	毎月季節や話題、幅広い世代に応じた曲を選び、企画することでリピーターが多く、満足度は高いと思われる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	ただ聴くだけのコンサートだけではなく、来館された方々が生演奏と一緒に歌うコーナーを設けることで他にないコンサートとなり、リピーターが多い。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	アマチュア演奏者等をゲストに迎えることで色々なジャンルの音楽を提供でき、音楽の分野の幅を広げることができる。またゲストとコラボすることで音声館スタッフの演奏技術の向上にもつながっている。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	様々な世代・ジャンルの音楽をしていただくことで、より多くの来館者に足を運んでいただけたと考える		
総合評価(自動計算)			10			
参加者や協働相手からの意見			同会場でのギャラリー・子どもお茶教室生によるお茶会と同時開催することで、より多くの市民の方々や観光客に来館していただけて良い。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	年間を通して、60～80名近くの方が毎回コンサートに来て下さり、来館数は安定している。このため、今後もニーズがあると考えられる。平常時、施設見学していただく箇所が少ないことから、コンサートをすることにより、より多くの市民や観光客に来館する機会を増やし、入館者の増加とともに、音声館のPRにつながっている。			リピーターが多いため、次年度以降も来館者が飽きないよう内容を充実し、継続していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		音楽を楽しもう！ (音声館開館20周年記念事業)		担当課 施設名	(音声館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)ー①	
	基本施策	2ー05	文化振興			
	施策	2ー05ー01	文化の振興			
実施形態	単発 継続		事業開始年		実施回数	1回
日時	①平成27年10月4日(日) 午後6時～7時30分 ②平成28年1月17日(日) 午後6時～7時30分			会場	音声館エントランスホール	
目的	プロの演奏家を招き、より質の高いコンサートを開催することで、市内はもとより市外からの来館者にも同館の存在を周知することを目的とする。					
内容	①秋田慎治ジャズピアノコンサートin音声館 ②福原瑞木ピアノリサイタル					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,639,000	支出	1,639,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	1,670,400	支出	1,386,574
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	充分な参加者数を得たと考える。		
	参加者満足度		10	演奏と曲についての内容が的確で良かった。音がピアノから溢れてくるようで感激しました。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	出演者・観客双方から好評をいただくことができた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	プロの演奏家のコンサートのため、質の高いコンサートであったと思われる。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	夜の公演の及び未就学児入場不可のため、参加者は大人に集中した。		
総合評価(自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			出演者からは、「大変響きの良いエントランスホールで演奏できてよかった」と好評をいただいた。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	音声館開館20周年記念事業と題し、プロを招いての催しを開催することで、より多くの来館者に同館の存在をアピールできた。また、質の高い芸術を鑑賞することで、高い満足度を得ることができた。			新しい企画を取り入れながら、他施設との連携をもって事業を展開して行きたい。		